平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4116　URL　http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　弘二
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役理財部門担当　(氏名) 武市　義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日　配当支払開始予定日　平成25年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	78,636	3.7	4,188	△11.3	4,606	△4.7	2,736	△12.1
25年3月期第2四半期	75,825	△3.6	4,721	1.9	4,831	8.4	3,112	31.6

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　5,883百万円　(109.6%)　25年3月期第2四半期　2,807百万円　(6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29.48	―
25年3月期第2四半期	33.52	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	161,463	63,436	38.0	660.81
25年3月期	157,211	57,954	35.7	604.42

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　61,354百万円　25年3月期　56,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
26年3月期	―	6.00			
26年3月期(予想)			―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	0.7	9,200	13.9	8,900	3.4	5,600	△2.2	60.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	93,065,554 株	25年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	217,074 株	25年3月期	215,773 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	92,849,047 株	25年3月期2Q	92,854,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果などにより、円安・株高が進行し、企業業績や個人消費が着実に改善するなど、景気は緩やかに回復しつつあります。海外経済は、米国では個人消費や設備投資が持ち直すなど回復基調で推移しましたが、一方では、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や欧州における債務問題の影響などもあり下振れリスクを抱えております。

この様な経済環境のもとで、当第２四半期連結累計期間の売上高は、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧や円安のため海外子会社の円換算額が増加したこともあり、786億３千６百万円と前年同期比3.7％の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は原材料価格の上昇に加え、本社ビル新築に伴い減価償却費が増加したことなどにより、41億８千８百万円と同11.3％の減益となりました。経常利益は為替差益を計上したことなどもあり46億６百万円と同4.7％の減益となりました。四半期純利益は、前年同期に発生したタイ洪水に伴う受取保険金が減少したことなどにより、27億３千６百万円と同12.1％の減益となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行なっております。塗料業界向けは、住宅関連が消費増税前の駆け込み需要により引き続き好調に推移しました。また、ＩＴ関連業界向け情報記録関連材料も得意先の生産調整の終了もあり堅調に推移しました。一方で、印刷インキ業界向けを中心とした顔料は全体的に低迷しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は117億８千８百万円と前年同期比0.3％の減収となり、営業利益は原材料価格の上昇もあり19億１千８百万円と同4.2％の減益となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種合成樹脂着色剤・コンパウンドは燃費性の高い軽自動車やＨＶ車の販売好調を受けて堅調な受注が続きました。また、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧や、円安のため当事業を中心とした海外子会社の円換算額が増加したこともあり増収となりました。生活関連製品業界向けの合成樹脂着色剤も猛暑の影響もあり夏季需要を中心に堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は424億３千４百万円と前年同期比5.5％の増収となりましたが、営業利益は原材料価格の上昇や新興国経済の成長鈍化の影響もあり19億９千万円と同14.9％の減益となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種ウレタン樹脂や関連製品は、米国の景気回復に伴う米国市場の活況と当社品が採用されている新車種の立ち上げの相乗効果により好調に推移しました。しかしながら、衣料品用のウレタン樹脂は国内外向けともに低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は87億８千８百万円と、前年同期比5.5％の増収となり、営業利益は15億２千５百万円と、同0.9％の増益となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。国内向けグラビアインキのパッケージ業界向けは、全国的な猛暑の影響もあり、飲料ボトル向けが堅調に推移しました。また、東南アジア市場においても生活関連向けを中心に好調に推移しました。オフセットインキは景気の緩やかな回復効果もあり、折込チラシなどの商業印刷業界向けが堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は150億１千６百万円と前年同期比3.6％の増収となり、営業利益は12億７百万円と同1.6％の減益となりました。

（その他事業）

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行なっております。

当セグメントの売上高は６億７百万円と前年同期比35.9％の減収となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、１億６千７百万円の損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は1,614億６千３百万円となり、前連結会計年度末と比べ42億５千２百万円増加致しました。これは、「現金及び預金」が増加したことなどにより流動資産が24億２千９百万円増加したこと及び「投資有価証券」が増加したことなどにより固定資産が18億２千３百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は980億２千７百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億３千万円減少致しました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は634億３千６百万円となり、前連結会計年度末と比べ54億８千２百万円増加致しました。これは、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したこと及び為替が前連結会計年度に比較して円安となったことにより「為替換算調整勘定」が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月10日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	153,000	9,200	8,900	5,600

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,659	28,896
受取手形及び売掛金	43,501	44,042
有価証券	161	179
たな卸資産	23,036	23,222
その他	3,080	3,526
貸倒引当金	△90	△88
流動資産合計	97,349	99,778
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,994	19,929
その他（純額）	22,085	23,269
有形固定資産合計	42,079	43,199
無形固定資産		
その他	1,041	1,137
無形固定資産合計	1,041	1,137
投資その他の資産		
投資有価証券	12,292	13,816
その他	4,613	3,728
貸倒引当金	△165	△195
投資その他の資産合計	16,741	17,348
固定資産合計	59,862	61,685
資産合計	157,211	161,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,032	26,522
短期借入金	22,855	22,419
1年内返済予定の長期借入金	8,338	9,866
未払法人税等	1,713	1,596
賞与引当金	2,032	2,072
環境対策引当金	120	220
固定資産解体費用等引当金	148	366
その他	4,553	4,610
流動負債合計	67,795	67,673
固定負債		
長期借入金	22,030	21,160
退職給付引当金	6,620	6,238
役員退職慰労引当金	444	404
関係会社整理損失引当金	295	240
環境対策引当金	634	575
その他	1,437	1,734
固定負債合計	31,462	30,353
負債合計	99,257	98,027

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	39,255	41,626
自己株式	△91	△91
株主資本合計	58,397	60,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,569	2,519
繰延ヘッジ損益	△16	△20
為替換算調整勘定	△3,829	△1,913
その他の包括利益累計額合計	△2,276	586
少数株主持分	1,833	2,081
純資産合計	57,954	63,436
負債純資産合計	157,211	161,463

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	75,825	78,636
売上原価	63,153	66,005
売上総利益	12,672	12,630
販売費及び一般管理費	7,950	8,442
営業利益	4,721	4,188
営業外収益		
受取利息	20	27
受取配当金	109	115
持分法による投資利益	30	51
為替差益	―	168
保険配当金	201	179
その他	337	319
営業外収益合計	699	862
営業外費用		
支払利息	360	340
為替差損	125	―
その他	101	104
営業外費用合計	588	444
経常利益	4,831	4,606
特別利益		
固定資産売却益	1	56
受取保険金	432	58
その他	108	52
特別利益合計	543	168
特別損失		
災害による損失	59	―
固定資産解体費用等引当金繰入額	―	260
その他	295	406
特別損失合計	355	666
税金等調整前四半期純利益	5,019	4,108
法人税、住民税及び事業税	1,731	1,422
法人税等調整額	41	△124
法人税等合計	1,772	1,298
少数株主損益調整前四半期純利益	3,247	2,810
少数株主利益	134	73
四半期純利益	3,112	2,736

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,247	2,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△554	961
繰延ヘッジ損益	△2	△3
為替換算調整勘定	82	1,980
持分法適用会社に対する持分相当額	34	134
その他の包括利益合計	△439	3,073
四半期包括利益	2,807	5,883
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,664	5,600
少数株主に係る四半期包括利益	143	282

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	11,826	40,234	8,327	14,488	947	75,825	―	75,825
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	158	16	34	0	7,601	7,810	(7,810)	―
計	11,984	40,251	8,362	14,488	8,549	83,636	(7,810)	75,825
セグメント利益（営業利益）（△損失）	2,002	2,338	1,511	1,226	△3	7,074	(2,353)	4,721

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	11,788	42,434	8,788	15,016	607	78,636	―	78,636
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	180	12	36	36	7,596	7,861	(7,861)	―
計	11,968	42,447	8,824	15,052	8,204	86,498	(7,861)	78,636
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,918	1,990	1,525	1,207	△167	6,474	(2,286)	4,188

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,286百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。